

1月の新着図書案内

広島県立広島皆実高等学校図書室

広島トリセツ

昭文社
旅行ガイドブック 編集部 編
「地図で読み解く
初耳秘話」



風光明媚な景観や世界遺産、中国エリアを牽引する産業と進取の気性で育んだ文化…。

広島県の地形や地質、歴史、文化、産業など多彩な特徴と魅力を、地図を読み解きながら紹介するマップエンターテインメント。広島県の知っているようで知られていない意外な素顔に迫ります。思わず地図を片手に、行って確かめてみたくなる情報を満載！

宮島の紅葉谷は人工的に造られたものだった！広島に「〇〇ちゃん」というお好み焼き店が多いわけ…など、広島県人でも初耳のエピソードを読んでみませんか？

オルタネート

加藤シゲアキ 著
「第164回直木賞候補作」



高校生限定のマッチングアプリ「オルタネート」が必須となった現代。東京のとある高校を舞台に、若者たちの運命が、鮮やかに加速していく。

全国配信の料理コンテストで巻き起こった〈悲劇〉の後遺症に思い悩む蒼(いるる)。母との軋轢により、〈絶対真実の愛〉を求め続ける「オルタネート」信奉者の屈津(なづ)。高校を中退し、〈亡霊の街〉から逃れるように、音楽家の集うシェアハウスへと潜り込んだ尚志(なおし)。恋とは、友情とは、家族とは。そして、人と“繋がる”とは何か。デジタルな世界と未分化な感情が織りなす物語の果てに、三人を待ち受ける未来とは一体…。

るるぶ

冬の北海道 '21
JTBパブリッシング 編
「冬の北海道の魅力を1冊に凝縮したガイドブック」



冬の北海道ならではの美しい銀世界へご案内。壮大な大自然絶景や、流水ウォッチや犬ぞりなど一度は体験したいアクティビティ、冬だけ現れる氷の街など、このシーズンだけの魅力を美しいビジュアルで紹介しています。

毎年的人气イベント「さっぽろ雪まつり」の情報や、ペンギン散歩など冬ならではの楽しみがある「旭山動物園」特集も見逃せません。

北海道でしか見られないような雪と氷の絶景、感動的な体験、美味しいグルメ、期間限定イベントなど、北海道の冬ならではの情報を集めた1冊です。

文藝春秋オピニオン

2021年の論点 100
文芸春秋 編
「ピンチをチャンスに変える。それが「教養」の力だ！」



各界の俊英が2021年に日本が直面する100の課題を徹底的に論じる。

政治・国際・経済・社会・WITHコロナの時代・文化・生活・芸能・スポーツ・

皇室・教育・科学といった幅広い分野について時代を代表する識者がその問題点について語る！

「ツイッター15年 自由で公正内言論空間は実現したのか」「なぜ日本人は『コロナ感染は自業自得』と考えてしまうのか」「『ひろしまタイムライン』当事者のいない歴史の危うさ」「東京五輪延期 現役オリンピックは何を考えているか」など興味深い論点が満載！

この本を盗む者は

深緑 野分 著
「本の魔力と魅力を詰め込んだ、空想の宝箱！」

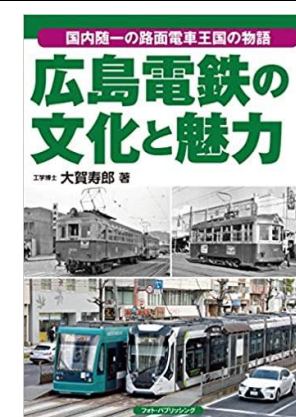


書物の蒐集家を曾祖父に持つ高校生の深冬。父は巨大な書庫「御倉館」の管理人を務めるが、深冬は本が好きではない。ある日、御倉館から蔵書が盗まれ、父の代わりに館を訪れていた深冬は残されたメッセージを目にする。“この本を盗む者は、魔術的現実主義の旗に追われる”

本の呪いが発動し、街は侵食されるように物語の世界に姿を変えていく。泥棒を捕まえない限り世界が元に戻らないと知った深冬は、探偵が銃を手に陰謀に挑む話や、銀色の巨大な獣を巡る話など、様々な本の世界を冒険していく。やがて彼女自身にも変化が訪れて――。

広島電鉄の文化と魅力

大賀寿郎 著
「国内随一の路面電車王国の物語」



皆さんもお世話になることの多い路面電車。その歴史と魅力を詰め込んだ1冊。

広島は、国内随一の路面電車王国であり「路面電車があることが街の魅力になっている」都市です。

本書では、広島電鉄の歴史全体を振り返りながら、戦後の技術革新の歴史、路面電車・郊外電車としての魅力、世界水準の超低床車両の特徴などを多角的に解説しています。また、路面電車だけでなく、山陽本線や可部線、アストラムラインについても語られ、広島の電車事情について1冊ですべてがわかります。

弁護士・検察官・裁判官の一日

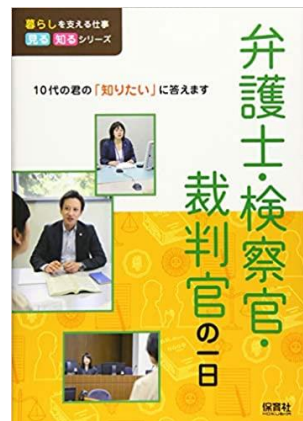
WILL ことば知育研究所編
「あなたの『知りたい』に
答えます！」

司法職の仕事ってどんな
ことをするの？ 仕事の時
はどんなことを考えている？
司法職になるには何を勉強
しておくといいの？ どんな
人が向いている？

そんな10代の疑問に、写真で「見る」文章で「知る」
ことができる本。

弁護士・検察官・裁判官の1日の仕事を、時間を追っ
て紹介し、「なぜこの職業を選んだのか？」「おもしろ
いところややりがいは？」などインタビューも掲載。

弁護士・検察官・裁判官の仕事について知りたいあな
たにぴったりの一冊です。将来について悩んでいる時は、
まず、気になる仕事について調べてみよう！



推し、燃ゆ

宇佐見りん著
「第164回芥川賞候補作」

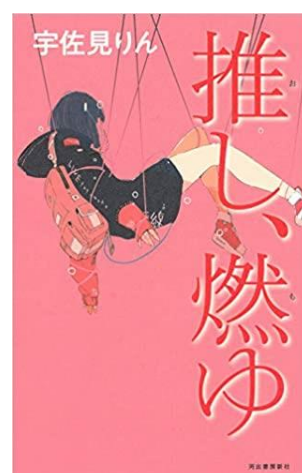
逃避でも依存でもない、推しは私の背骨だ。アイドル上野真幸を“解釈“することに心血を注ぐ高校1年生のあかり。

ある日、推しがファンを殴った。そして、炎上。ままならない人生を引きずり、祈るように推しを推す。

「推しは命にかかわるからね」

心のよりどころである推しのために生きる女子高生あかりの姿は、推しを持つ全ての人に共感を呼び起こす。

デビュー作『かか』は第56回文藝賞及び第33回三島賞を受賞（三島賞は史上最年少受賞）。21歳、圧巻の第二作。



余命3000文字

村崎 羯諦 著
「5分で読めて
あっと驚き
わっと泣ける」

「大変申し上げにくいのですが、あなたの余命はあと3000文字きっかりです」ある日、医者から文字数で余命を宣告された男に待ち受ける数奇な運命とは一？（「余命3000文字」）。

「妊娠六年目にもなると色々生活が大変でしょう」母のお腹の中で引きこもり、ちっとも産まれてこようとしない胎児が選んだまさかの選択とは一？（「出産拒否」）。
「小説家になろう」発、年間純文学「文芸」ランキング第一位獲得作品の書籍化。朝読、通勤、就寝前、すき間読書を彩る作品集。泣き、笑い、そしてやってくるどんでん返し。書き下ろしを含む二十六編を収録！



令和3（2021）年がスタートしました。皆さんは、今年の目標を立てましたか？小さな目標でもいいので、目標を立て、それを実行する1年にしていきましょう！

さて、1月は芥川賞・直木賞（下半期）が発表される月です。これらの賞は、上半期7月・下半期1月の年2回発表される、大変有名な文学賞です。

選考会は1月20日に行われます。ニュースに注目しておこう！

芥川龍之介賞



文藝春秋の創始者・菊池寛が、友人である芥川龍之介の名を記念し、直木賞と同時に昭和10年に制定した。雑誌（同人雑誌を含む）に発表された新進作家による純文学の中・短編作品中から最も優秀な作品に贈られる賞（応募方式ではない）。正賞は懐中時計、副賞は100万円。

授賞は年2回で上半期（前年12月～5月までに発表されたもの）の選考会は7月中旬。受賞作は「文藝春秋」9月号に全文が掲載。下半期（6月～11月までに発表されたもの）の選考会は翌年1月中旬。「文藝春秋」3月号に全文が掲載。

選考委員は小川洋子・奥泉光・川上弘美・島田雅彦・平野啓一郎・堀江敏幸・松浦寿輝・山田詠美・吉田修一の各氏。

- 第164回芥川龍之介賞（文芸誌）
- 宇佐見りん『推し、燃ゆ』（文藝秋季号）
- 尾崎世界観『母影』（新潮12月号）
- 木崎みつ子『コンジュジ』（すばる11月号）
- 砂川文次『小隊』（文學界9月号）
- 乗代雄介『旅する練習』（群像12月号）

直木三十五賞



文藝春秋の創始者・菊池寛が友人である直木三十五の名を記念し、芥川賞と同時に昭和10年に制定した。新進・中堅作家によるエンターテインメント作品の単行本（長編小説もしくは短編集）の中から、最も優秀な作品に贈られる賞（応募方式ではない）。正賞は懐中時計、副賞は100万円。

授賞は年2回で、上半期（前年12月～5月までに発表されたもの）の選考会は7月中旬、受賞作は「オール讀物」9月号に一部掲載。下半期（6月～11月までに発表されたもの）の選考会は翌年1月中旬、「オール讀物」3月号に一部掲載。

選考委員は浅田次郎・伊集院静・角田光代・北方謙三・桐野夏生・高村薫・林真理子・三浦しをん・宮城谷昌光・宮部みゆきの各氏。

- 第164回直木三十五賞（出版社）
- 芦沢央『汚れた手をそこで拭かない』（文藝春秋）
- 伊与原新『八月の銀の雪』（新潮社）
- 加藤シゲアキ『オルタネート』（新潮社）
- 西條奈加『心淋し川』（集英社）
- 坂上泉『インビジブル』（文藝春秋）
- 長浦京『アンダードッグス』（KADOKAWA）